



9



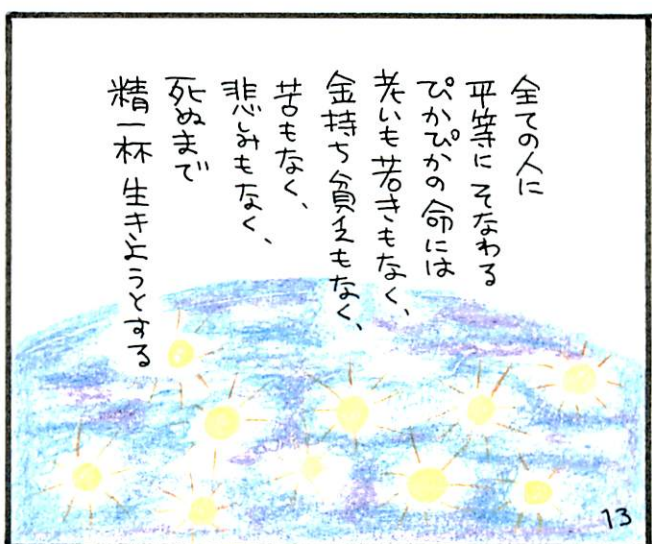
10



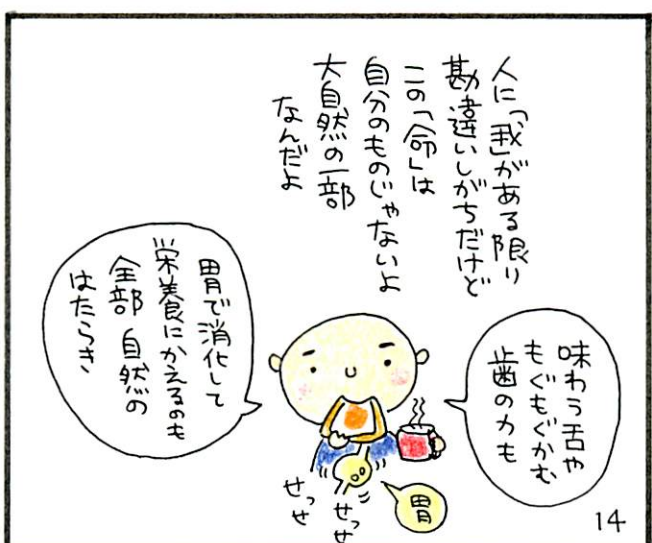
11



12



全ての人に
 平等にそなわる
 びかびかの命には
 羨いも芳さもなく、
 金持ち貧乏もなく、
 貧もなく、
 非心みもなく、
 死ぬまで
 精一杯生きようとする



人に「我がある限り
 勘違いしがちだけど
 二の「命」は
 自分のものじゃなく
 大自然の一部
 なんだから

田で消化して
 栄養食にかえり
 全部自然の
 ひとつの
 部分

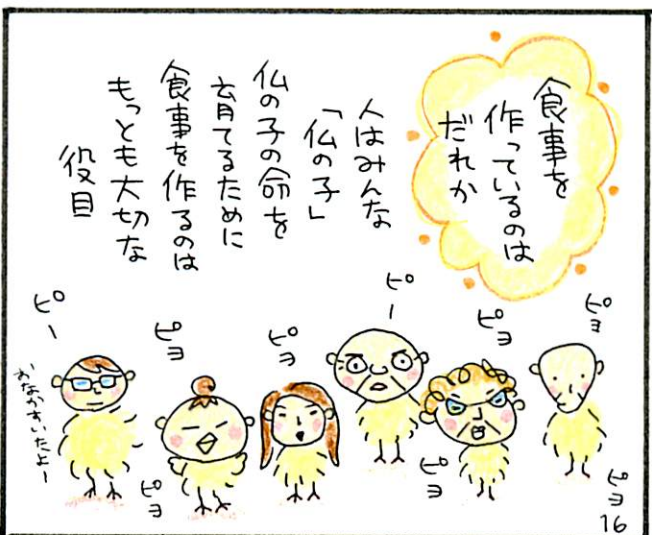
味わう舌
 もぐもぐかむ
 歯のかま

胃



そして
 料理を「おいしい」「ありがたい」と
 感じているのはどの自分だろう...
 損得、いいわるいを考えてる
 自分じゃない
 ありのままの自分だけ

おいしいなあ...



食事を
 作っているのは
 だれか

人はみんな
 「仏の子」
 仏の子の命を
 作るために
 食事を作るのは
 もっとも大切な
 役目

